

(別紙3)

文起第1097号 - 1

令和5年10月26日

(施設名) 米子市美術館  
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団  
(代表者名) 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司

### 令和4年度「米子市美術館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市美術館
施設所管課	経済部文化観光局 文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日(2年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

新型コロナウイルス感染対策を継続し全ての展覧会事業を実施。特別共催展では、日常的なものを題材にミニチュアの世界を作り上げるアーティストを取り上げ、これまで来館機会の少なかった若年層の誘客に努めた。貸館の展示作業では、利用団体の作業協力にも積極的に参加。また、収蔵品の管理も適切に行われ、施設の管理運営面全体として協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理が実施されていた。

##### 【第三者評価】

###### ① 施設について

- ・市民の教養学の向上に積極的に取り組んでいた(出前講座、ミュージアムスクール等)
- ・2階の松の工芸品のスペースが気になる。工芸作品ではあるが、スペースが無駄になっているという声もある。建物の大改修は非現実的であると思うが、もう少し非日常を感じさせる美術館にするために、例えば若手アーティスト等にアイデアを求めてみるなど、外部の意見を募ってほしい。
- ・1F コインロッカー横の長椅子の置き場所に一考を(トイレ前)
- ・立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切に実施されている。
- ・市民の文化教養をより一層高めるための有意義な施設になるよう、よく維持管理に努められておられます。

- ・身障者用駐車スペースが広くなり、利用者も多くなっていると思う。
- ・エレベーターの位置がわかりにくいような気がするので、表示の充実を考えたかどうか。

## ② 管理について

- ・計画的に管理運営なされている。
- ・限られた人員で多岐にわたりよく、管理されておられます。
- ・コロナ感染対策が大変だったと思うが、適切な対応をされていたように思った

## ③ 事業について

- ・全国区なもの、地元中心なものとうちにバランスがとれていると思う。
- ・「～田中達也 見立ての世界～」は遊び心満載な作品で、幅広い年齢層の人が楽しめた。中でも多くの若い人を呼び込めたのは良かった。
- ・コロナの感染拡大防止を念頭におきながら、企画展、共催展、市展、県展など全ての展覧会事業が開催されていて良かった。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策をとりつつ、年間これだけの事業を開催され、企画・運営など努力の跡がうかがえます。特別企画展、共済展示、特によかったと感じました。出前講座も広げていき、今以上にたくさんの方に美術館に関心を持っていただきたいと思います。
- ・立ち入り調査やデータに基づいた検証が適切に実施されている。
- ・美術館事業としての創意工夫は見受けられます。
- ・秋展示室を利用していただくための工夫が必要
- ・特別共催展「田中達也 見立ての世界」、特別企画展「鈴木康生展」「満田晴穂 JIZAI」等、興味を引く展覧会が多く、楽しむことができたと思う。展示方法やワークショップなどもよかったと思う。

## 【今後の業務改善方策等の特記事項】

### 【施設所管課】

- ・観覧者ニーズをアンケート等から捉え、収蔵品を効果的に利用した事業企画を立てるなどし、観覧者数増加に繋げることに期待したい。また、第三者評価も参考に更なる運営の向上と、施設の適切な管理を図っていただきたい。

### 【第三者評価】

- ・出前講座、ミュージアムスクールの参加者を、さらに増やせるよう努力が必要。
- ・女性用トイレの洗面台の位置、ドアの場所がなぜ現在の状態になっているのかわからない。トイレを済ませた後、内扉を開けないと手が洗えない。
- ・SNSでの情報発信は大きな力であり、今後も更に充実させてほしい。
- ・対話型美術鑑賞等のイベントを開催してはどうか。
- ・子ども達にもっと美術館に来てほしい。家庭で文化、芸術を楽しむ環境にあるのが望ま

しいが、現状はそういった家庭が少ない。学校教育の中で、せつかく地元美術館があるのだから、活用しないともったいない。真剣に教育委員会や市役所などと、本気で取り組む道筋を作れないかと思う。

- ・職員・入館者の健康面に如何に配慮すべきかの工夫が必要
- ・現代美術の作家の展覧会企画にも取り組まれていて、興味深く拝見しているが、展示の方法に賛否が別れていると思う。年配の方々にはなかなか理解が難しいかもしれないが、取り組みとしては進めてほしいと思っている（若い世代の観覧者の拡大のためにも）。
- ・コレクション展は毎回楽しみにしているが、観覧者が少ないように感じ、残念に思っている。広報に何かもう少しインパクトがあると良いのではないか。良い作品、見ごたえのある作品が多いので、勿体ないと思う。

## 令和4年度下期「米子市美術館」モニタリング評価表〔令和5年9月〕

施設名	米子市美術館	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	公募・ <b>非公募</b>	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。市展、県展、特別企画展、特別共催展、コレクション展（年間2回）、共催展、若手作家支援展、教育普及事業（ミュージアムスクール・年間4回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認（60点）</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員を配置し、管理体制も明確であった。また、マニュアル等も作成し、安全対策をはじめ、危機管理体制、態勢を整え利用者の安全確保に努めた。 資料等確認、立入検査
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、定期的に研修を受講していた。 資料等確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	特別企画展（満田晴穂展）、県展、コレクション展Ⅱ等を実施。新型コロナウイルス感染症への適切な対策を講じた上で、積極的な広報活動を行うなど利用の拡大に努めた。 資料等確認
2 利用者に関する業務			

(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	市展等、入場者数が昨年より下回ったものもあったが、全体としては昨年以上の入場者数だった。
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	サポーター制度、委員会、アンケートを活用し要望を把握。適切に策を講じていた。 立入検査、資料等確認
<b>3 保守点検及び清掃等の業務</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われていた。 台帳確認、立入調査
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書及び覚書に基づき、適切に実施。 台帳確認

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき業務を適切に実施していた。 台帳確認、立入調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書及び覚書に基づき、適切に実施。空調機のユニット修繕などを必要に応じて行った。 台帳確認、立入調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	事業計画書に沿って適切に行われた。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報を慎重に取り扱っていた。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画している。 資料確認

<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか	B	各展示会やミュージアムスクール等で利用者アン

		利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		ケートを実施。利用者からの否定的な意見はなかった。 資料等確認、立入調査
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	消毒なども適宜実施するなど、協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3	運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	サービス水準の向上策を基に、創意工夫のある内容であった。また、利用者への接遇についても適切であった。 資料等確認、立入調査
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	展覧会で「おやこでアートじかん」を設け、親子で楽しんで鑑賞できる時間帯を設定するなどし、創意工夫がみられた。 資料等確認
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	特別共催展や特別企画展では、様々な関連イベントを企画する等、美術に対する市民の教養等の向上にも積極的に取り組んでいた。 資料等確認
<b>Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）</b>				
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	事業収支は適切な水準であった。 補足資料2
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	団体の経営状況分析指標は適切であった。 補足資料4

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>特別共催展「田中達也展」をはじめ、市展、企画展「鈴木康生展」など、全ての展覧会事業を開催。おおむね円滑な管理運営が行われている。</p>	<p>合計点 (62) 点 / (100) 点 × 100 = (62)</p> <p>平均点 (3.1) 点</p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
  - B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
  - C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
  - D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第1位を四捨五入、平均点は小数点第2位を四捨五入とする。

【補足資料】

1 利用状況

項目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕	A	前年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕	B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数（注1）	315	（ 260 ）	317	（ 253 ）	-2 99.4（%）	
施設利用者数	75,419		62,126	13,293	121.4（%）	新型コロナウイルス感染症の影響による
施設稼働率（注2）	82.5	%	79.8	%	2.7 103.4（%）	
事業開催数	14		12	2	116.7（%）	

（注1）（ ）の数字は展示日数

（注2）施設稼働率 展示日数／開館日数 により算出

2 事業収支

（1）収入

項目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕	A	前年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕	B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	2,336,579		3,093,114	-756,535	75.5（%）	減免による貸館が増加したため
指定管理料	58,981,000		59,692,000	-711,000	98.8（%）	
事業収入	7,277,071		7,384,440	-107,369	98.5（%）	
補助金等	2,722,535		215,630	2,506,905	1262.6（%）	電気代高騰補助金による
雑収入	130,480		172,134	-41,654	75.8（%）	図録など販売減によるもの
負担金	0		0	0	（%）	
合計	71,447,665		70,557,318	890,347	101.3（%）	

（2）支出

項目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕	A	前年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕	B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	29,149,385		29,761,809	-612,424	97.9（%）	
施設管理費	20,722,114		17,980,317	2,741,797	115.2（%）	
事業費	9,651,110		10,840,981	-1,189,871	89.0（%）	
委託費	4,980,000		5,570,900	-590,900	89.4（%）	
事務局経費	4,311,000		5,602,000	-1,291,000	77.0（%）	職員の配置転換のため
合計	68,813,609		69,756,007	-942,398	98.6（%）	

### 3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和4年4～ 令和5年3月〕	前年度〔令和3年4～ 令和4年3月〕	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
	A	B			
①事業収支	2,634,056	801,311	1,832,745	328.7 (%)	新型コロナウイルス感染症の影響による
②利用料金比率	3.3 %	4.4 %	-1.1	75.0 (%)	減免による賃館が増加したため
③人件費比率	42.4 %	42.2 %	0.2	100.5 (%)	
④外部委託費比率	7.2 %	7.9 %	-0.7	91.1 (%)	
⑤利用者当たり 管理コスト	912.4	1,135.7	-223.3	80.3 (%)	
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	782.0	690.8	91.2	113.2 (%)	

#### ①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができているかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ②利用料金比率：(利用料金収入/収入×100)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③人件費比率：(人件費/支出×100)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

#### ④外部委託比率：(外部委託費合計/支出×100)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

#### ⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

#### ⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

### 4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成 30 年	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	備考
①自己資本比率	44.9 %	62.8 %	44.8 %	55.5 %	61.2 %	
②流動比率	191.7 %	323.6 %	196.3 %	257.0 %	312.3 %	
③固定長期適合率	11.2 %	11.0 %	12.6 %	10.9 %	10.5 %	
④総資産経常利益率	4.4 %	-0.5 %	-8.1 %	8.8 %	3.9 %	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

#### ①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%

以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

#### ②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

#### ③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

#### ④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

※補足資料1~4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益余剰金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。
-------

6 利用者アンケートの結果

職員の対応が良かった、作品の展示が素晴らしかった等、概ね良い意見だった。
--------------------------------------